

公益社団法人日本綱引連盟

業務概要



2018 年 6 月 16 日現在

概要

| | |
|------|--|
| 名称 | 公益社団法人日本綱引連盟（JAPAN TUG OF WAR FEDERATION 略称 JTWF） |
| 所在地 | 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館5F TEL：03-3481-2531 FAX：03-3481-2534 E-mail tugofwar@japan-sports.or.jp |
| 沿革 | 昭和55年（1980年）12月1日 設立 平成元年（1989年）3月30日 法人設立 平成25年（2013年）4月1日 公益社団法人移行、設立 |
| 目的 | 我が国における綱引競技を統轄し、かつ代表する団体として、広く一般市民に対して綱引の普及及び振興を図り、もって国民の体力の向上と心身の健全な発達に寄与すること。 |
| 事業 | 1. 綱引競技の普及及び指導 2. 綱引競技の日本選手権大会およびその他の競技会の開催 3. 綱引競技界を代表して、国際綱引連盟およびアジア綱引連盟に加盟すること並びにその事業への協力 4. 綱引競技の国際競技会への代表選手、審判員及び役員を選考及び派遣 5. 綱引競技に関する競技規則の制定 6. 綱引選手の競技力向上 7. 綱引競技の審判員の養成及び資格認定 8. 綱引競技に関する用具の公認 9. 日本の伝統文化としての綱引の文化保存事業 10. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 |
| 会員 | 正会員 63名 普通会員 975名 競技者 1,818名 |
| 加盟団体 | 42 都道府県連盟 |
| 加盟組織 | 公益財団法人日本スポーツ協会（1990年9月加盟） 国際綱引連盟（IOC加盟団体）1985年4月加盟 アジア綱引連盟（1989年7月加盟） |
| 委員会 | 総務組織本部（総務、組織強化、法務、国際） 競技普及本部（技術審判、公認スポーツ指導者育成） |

公益社団法人日本綱引連盟役員名簿（任期：平成32年6月定時総会終了時まで）

| | | |
|-------|--------|--------|
| 会 長 | 秋山 肇 | |
| 副 会 長 | 高橋 雅二 | 業務執行理事 |
| 副 会 長 | 松浦 正人 | |
| 専務理事 | 山田 一夫 | 業務執行理事 |
| 常務理事 | 早坂 義弘 | |
| 理 事 | 上屋 勝哉 | |
| | 石山 なほみ | |
| | 竹澤 誠一 | |
| | 山本 博男 | |
| | 小林 輝雄 | |
| | 富澤 和美 | |
| | 櫻庭 星治 | |
| | 浅川 幸彦 | |
| | 松井 秀明 | |
| | 竹内 重雄 | |
| | 岡田 光正 | |
| | 石井 良彦 | |
| | 日和田 美樹 | |
| | 今泉 守正 | |
| 監 事 | 菊池 至 | |
| | 荻原 敏靖 | |
| | 江川 勝一 | |

（平成 30 年 6 月 16 日現在）

主要大会

主催大会

全日本綱引選手権大会
全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会
全日本綱引フェスティバル
全日本男女混合綱引大会
東日本綱引選手権大会
西日本綱引選手権大会

国際綱引連盟主催

世界綱引選手権大会（インドア、アウトドア、隔年開催）

アジア綱引連盟主催

アジア綱引選手権大会（インドア、隔年開催）



平成30年度競技会日程

| 月 日 | 競 技 会 | 会 場 |
|----------------|----------------------------|------------------|
| 7/1 | 第16回西日本綱引選手権大会 | 大分県別府市べっぴんアリーナ |
| 8/5 | 2018全日本ジュニア・ユース 綱引選手権大会 | 駒沢オリンピック公園体育館 |
| 8/19 | 第8回全日本綱引フェスティバル | 東京都中央区総合スポーツセンター |
| 9/22～23 | 福井国体公開競技 | 福井県勝山市・勝山市体育館 |
| 10/14 | 第23回東日本綱引選手権大会 | 群馬県前橋市民体育館 |
| 10/28 | 2018全日本男女混合綱引大会 | 兵庫県姫路市ウイング体育館 |
| 平成31年 3/2～3 | 2019全日本綱引選手権大会 | 駒沢オリンピック公園体育館 |

平成30年度研修会等日程

| 月 日 | 競 技 会 | 会 場 |
|-------|-------|---------------|
| 10/13 | 中央研修会 | 群馬県前橋市民体育館 |
| 10/27 | 中央研修会 | 兵庫県姫路市ウイング体育館 |



綱引とは

■伝統あるスポーツ

- ・古来より世界各地で様々な方法で行われていた
→豊作を祈る行事、争いごとを鎮める手段、領土を獲得する方法
- ・日本でも豊作、豊漁を祈願する神事として各地で行われてきた
→大曲（秋田県）の大綱引、与那原（沖縄県）の大綱引

■「いつでも」「どこでも」「だれでも」参加できるスポーツ

- ・小中高等学校、企業の運動会や地域のレクリエーション
→シンプルで、やって楽しく、観て面白い
→チームワークの重要性やコミュニケーションの形成

■過去にはオリンピックの正式種目

- ・第2回パリ大会（1900年）から第7回アントワープ大会（1920年）まで
→力と技能を発揮する競技スポーツとしての綱引

■日本における競技綱引

- ・1980年、スポーツ競技としての綱引が日本に紹介される
→1981年2月「第1回全国都道府県対抗全日本綱引選手権大会」
(晴海国際貿易センター)
- 1992年～ 全日本軽量級選手権大会（全日本綱引選手権軽量級大会）
- 1999年～ 全日本ジュニア綱引選手権大会
- 2001年～ 全日本アウトドア綱引選手権大会

■日本チームの活躍

- ・世界インドア綱引選手権大会（2004年スコットランド）
→男女共に金メダルを獲得
- ・ワールドゲームズ（2005年ドイツ）
→女子が銀メダル獲得
- ・世界インドア綱引選手権大会（2006年アイルランド）
→女子が金メダル獲得（480kgクラス）

■綱引競技の最高峰-全日本綱引選手権大会

- ・全国の予選会を勝ち抜いた代表が綱引日本一を目指して熾烈な熱戦を展開
→大会優勝者は世界選手権への出場資格を与えられる
→毎年 NHK BS にて全国放送